

講義名	ドイツ語初級		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	海老原 由美子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	42044

主題と概要

入門で学んだドイツ語を復習しながら、様々な新しい場面での表現を学び、体験学習を重ねます。ドイツに語学留学した Seiko に自分を重ね合わせて、一日の活動を表現したり、一週間の活動のプランを作ったり、ある事・物についての意見を求めたり述べたりします。また週末は遠足に出かけます。そして、留学の最後を締めくくるパーティーでどんなことがあったのか、過去のことを表現します。実際に使える身近な表現を学んだ後に、文章の規則性に気づく。このプロセスを大事にして文法を学びます。体験学習から文法へ。すべて、ペアかグループワークとなります。ドイツ語を学ぶことはドイツを知ることです。ドイツってこんな国かな？ドイツ人の考えってこんな風？ドイツ語を学びながら皆で語り合います。「ヨーロッパのことはと文化」の講義でも、ドイツ語圏の生活事情や文化、ことばについて知ることができます。

到達目標

様々な助動詞をトレーニングすることで、一日の活動の中でも、「したいこと」と「しなければならないこと」、「できること」、「していいこと」と「してはいけないこと」が言えるようになります。意見を求めたり、意見を述べたりできるようになることは、ドイツ語の学習でとても重要です。自分の意見を持つことが求められるからです。また、現在完了形をトレーニングすることで、ようやく、過去の活動を表現できるようになり、これで初級の一つの段階を終えることとなります。繰り返し発音する機会を作ること、しっかりした発音を身につけます。

提出課題

毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。

評価の基準

平常点（出席 - 15%、提出物 - 25%、小テスト - 10%）50%、筆記試験と口頭試験 50%

履修にあたっての注意・助言他

教科書（ワークブック付き）は毎回の授業に必ず持参してください。聞き取りに力を入れたいのでCDをよく聞くようにしてください。音には慣れることが一番だからです。ペア、グループでのワークが中心ですから、互いに助け合っており、自発的に授業に参加すれば、力をのばすことができるようになります。

教科書

『CD&ワークブック付きベーシック版自己表 板山真由美 塩路ウルズラ 三修社 2800円 978-4-384-
現のためのドイツ語<プラス>』 本河裕子 吉満たか子

プリント資料及び参考文献

<推薦辞書・サイト>
アガロン独和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe

授業計画

- 1回 これまでの復習 / L5 勉強と余暇 したいことと、相手を誘う表現を学ぶ
- 2回 L5 勉強と余暇 しなければならないことを言う
- 3回 L5 勉強と余暇 できること、していいこと、してはいけないことを言う
- 4回 L5 まとめてミニテスト
- 5回 L6 Seikoの一週間 一週間のプランをたてる
- 6回 L6 Seikoの一週間 相手に一週間の活動について聞いてみる
- 7回 L6 Seikoの一週間 相手に意見を求める、自分の意見を言う
- 8回 中間テスト 筆記と口頭
- 9回 L7 どこで待ち合わせしましょうか？ 様々な待ち合わせ場所
- 10回 L7 どこで待ち合わせしましょうか？ 明日時間ある？ 相手の意志をたずねる表現
- 11回 L7 どこで待ち合わせしましょうか？ ピクニックを計画し待ち合わせ場所の相談をする
- 12回 L8 お別れパーティーの後で 昨日の出来事を言う 何を飲んで何を食べた、など
- 13回 L8 お別れパーティーの後で この一週間、何をしましたか？
- 14回 L8 お別れパーティーの後で この一年、何をしましたか？
- 15回 まとめと期末テストの準備

予習・復習

復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次回の授業への理解に繋がります。短時間でもよいので、毎日ドイツ語に触れる習慣をつけてください。一日に一度は教科書を開く。CDを聞く。授業でトレーニングした会話を音読する、新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法があります。

備考

一回目の授業には必ず出席してください。履修への注意事項やアドバイス、授業の進め方など重要事項を説明します。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。